

2023年7月7日

環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平

担当ワーキンググループ主査 柴田 裕希

バングラデシュ国ジョイデプールーイシュルディ間鉄道複線化事業

(協力準備調査(有償))

ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2023年6月12日(月) 13:58～17:03
- ・場所：JICA本部(2階229会議室)及びオンライン
- ・ワーキンググループ委員：柴田委員、鈴木委員、寺原委員、原嶋委員
- ・議題：バングラデシュ国ジョイデプールーイシュルディ間鉄道複線化事業(協力準備調査(有償))に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) 01 Draft Final Report (Main Text) (1)
 - 2) 02 Draft Final Report (Appendix)
 - 3) 【助言対応表】バングラデシュ国ジョイデプールーイシュルディ間鉄道複線化事業(協力準備調査(有償))
 - 4) 【SC案時回答表】バングラデシュ国ジョイデプールーイシュルディ間鉄道複線化事業(協力準備調査(有償))
 - 5) 回答表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第150回委員会)

- ・日時：2023年7月7日(金) 14:00～16:45
- ・場所：JICA本部(2階229会議室)及びオンライン

上記の会合にて助言を確定した。

助言

環境配慮

1. 詳細設計段階で事業対象地域の特性を踏まえて、沿線における騒音・振動の配慮が必要な施設（例：学校、病院等）の存在を確認し、影響軽減策を検討し実施するよう FR に記載し、バングラデシュ国鉄に申し入れること。
2. 本事業では、既存線路がある Chalan Beel 内で複線化が実施される。しかし、Chalan Beel は JICA 環境社会配慮ガイドライン上の「重要な生息地」に該当するため、Chalan Beel における重大な負の影響をもたらさないように緩和策を計画し、モニタリングを行うようバングラデシュ国鉄に申し入れること。
3. 複線化のための盛り土にあてる土砂の確保による環境社会影響について、適切な配慮を行うようバングラデシュ国鉄に申し入れること。

社会配慮

4. ステークホルダー協議の結果を受けて、そのニーズに沿った生計回復プログラムの設定を行うようバングラデシュ国鉄に申し入れること。

以 上